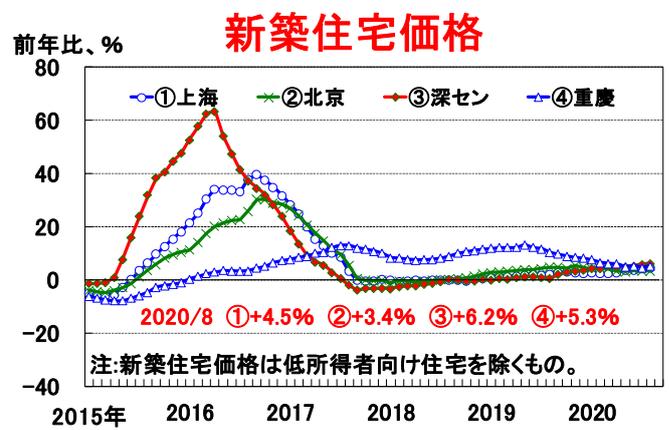
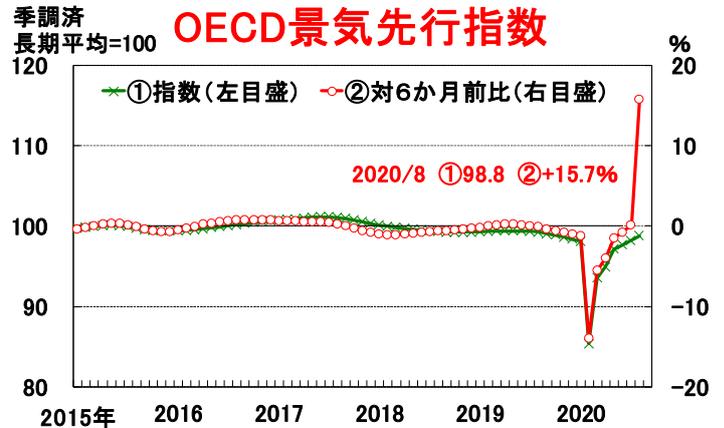
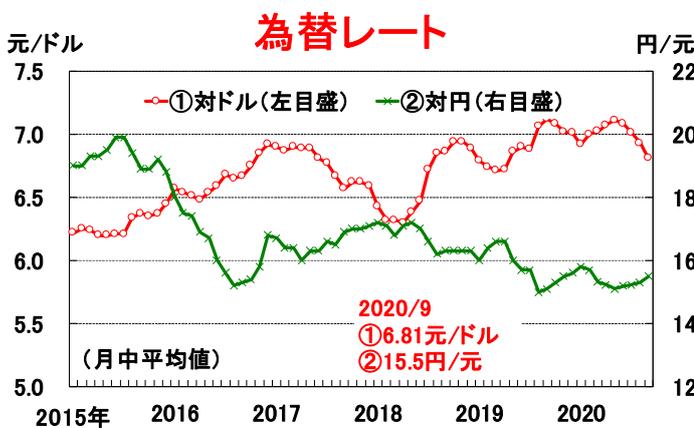
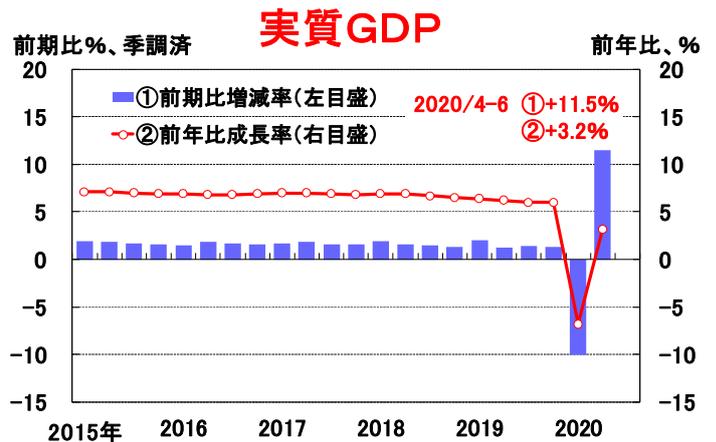
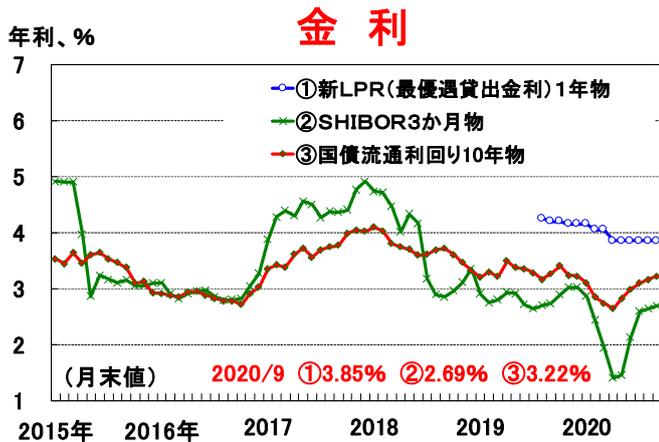


グラフで見る中国経済 2020年10月号(No. 137)

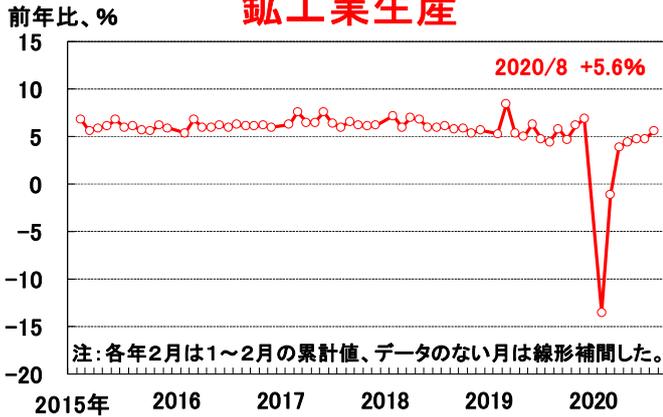
中国景気は足元で回復の動きが広がっている。まず、企業部門では、8月の通関輸出が前年比+9.5%と伸びを高めた。海外経済の(コロナ禍からの)回復がまだ鈍いものの、新型コロナがまん延している諸国からの医療物資の需要増加などがこの背景にある。同月の鉱工業生産も同+5.6%と19年12月以来の高い伸びとなった。また固定資産投資は8月に同+8.5%と増勢が強まった。家計部門に関しても、8月の小売売上高が同+0.5%と19年12月以来の増加となった。内訳をみると、通信機器や化粧品関連が堅調に増加する一方で、外食関連は引き続き前年水準を下回った。



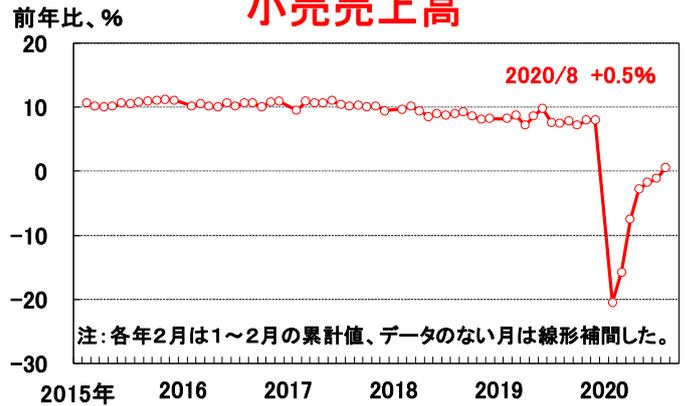
(出所) 中国人民銀行、中国国家统计局、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

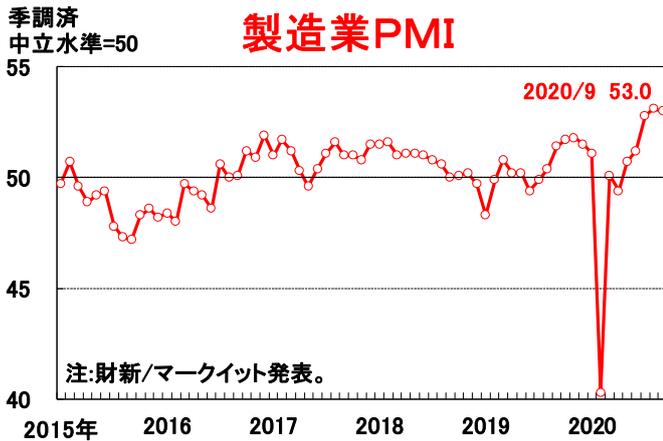
鉱工業生産



小売売上高



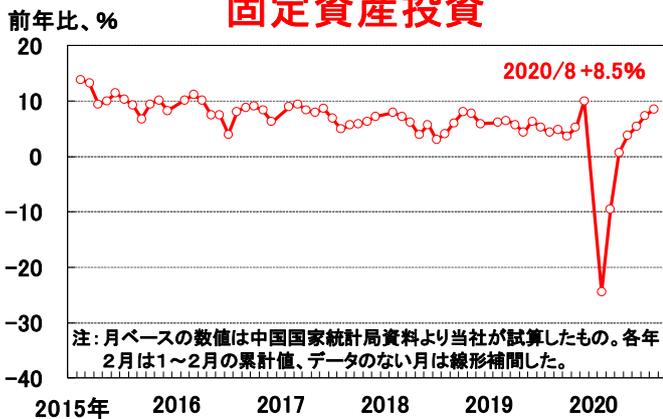
製造業PMI



新車販売台数(乗用車)



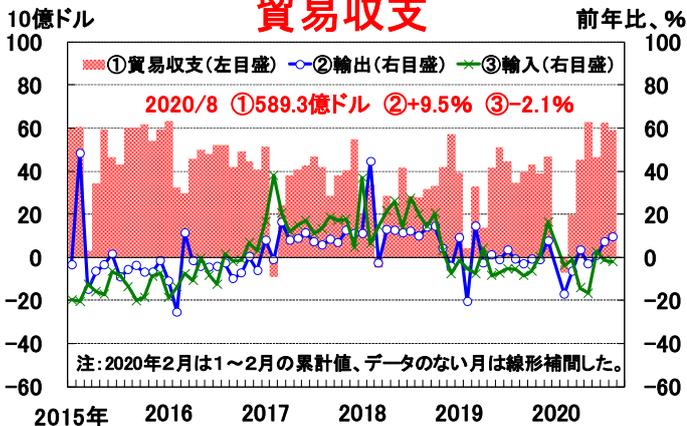
固定資産投資



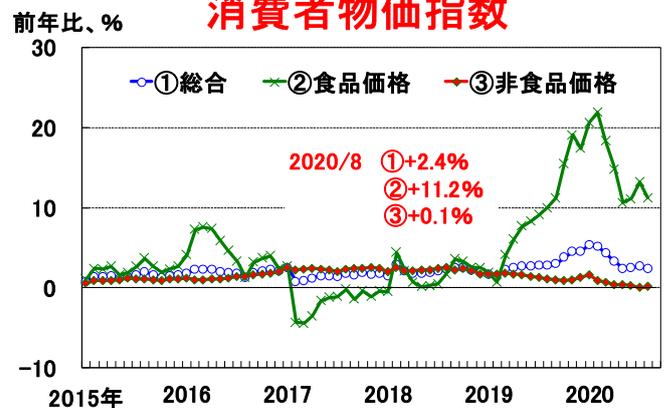
マネーサプライ



貿易収支



消費者物価指数



(出所) 中国国家统计局、中国海関総署、中国商務部、中国汽車工業協会、中国物流購買連合会、中国人民銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。